

学校経営計画

1 経営理念

- すべての教育活動は学校の主役である児童・生徒のことを第一に考え、安全・安心な学校を作り、必要と判断したことは必ず実現する。

2 経営方針

- 十五の春に向け、主体的に考え、判断し、行動する力をもち、広い視野をもった国際性豊かな人材を育成するための教育活動を追求する。
- 伝統・文化及び地域の特性との調和を図り、保護者・地域と一体となり、利島の良さを最大限に生かした魅力ある学校づくりに邁進する。
- すべての児童・生徒にとって居心地が良く、学習と生活が落ち着いてできる安全・安心な学校づくりに取り組む。

3 教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、児童・生徒の自立を目指し、義務教育9年間の一貫した教育を通して、知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指して、次の目標を設定する。

- 「自立」
- よく考え 進んで学ぶ人 「問題発見・解決力」
 - 思いやりのある 心豊かな人 「人間関係形成力」
 - 元気に たくましく生きる人 「実践力」

4 目指す学校像

9年間の学びの系統性・連続性を重視し、全教職員が一丸となり共通理解のもと児童・生徒の成長を促進することができるよう以下の学校像を設定する

- 児童・生徒が「利島小中学校で過ごせて幸せだった」と思える学校
(安心して登校し満足して下校できる学校)
- 保護者が「利島小中学校に通わせて良かった」と思える学校
(いつでも相談でき、信頼される学校)
- 教職員が「利島小中学校で働くことが誇りだ」と思える学校
(利島の教育を背負っていると自信をもって言える学校)

5 目指す教師像

- 小中教職員相互の信頼関係を構築し、全教職員が全児童・生徒を指導・支援する意識をもち実践できる教師
- 児童・生徒のよさを認め、褒めて認めることによって、自ら考え学ぶことができる資質・能力を伸ばすことに努める教師
- ひと手間を惜しまず、児童・生徒・保護者に対応することで、相互理解を深め、信頼される教師
- 児童・生徒の理解に努め、保護者と協力して『児童・生徒一人一人よく面倒を見て、かわいがり自ら歩ませる』指導・支援に努める教師
- 利島の教育に夢を抱き、児童・生徒のためにひたむきに働き、絶えず研究と修養に努めて、日々の教育活動に励む教師

○学校運営の一翼を担っているという自覚をもって、学校や利島村および東京都の教育のために貢献する教師

6 目指す児童・生徒像

- 自ら考え、正しい判断と行動ができ、常に成長できる児童・生徒
- 自分も他人も尊重する優しさを持ち、前向きに生活できる児童・生徒
- 心身ともに健康で、困難を乗り越えられる児童・生徒

7 教育活動の重点目標と方策

○保小中一貫教育の充実【学校運営】

義務教育学校の強みを生かし初等中等教育の目的を踏まえた小学校1年から中学校3年の義務教育九年間の系統的な指導を行うため、全教科・領域において縦断的かつ横断的な指導計画に基づき、前期課程教員と後期課程教員が相互に連携して児童・生徒の指導に取り組む。また、保育園から小中学校への入学を円滑に進めるため保育園との交流を深める。

《具体的方策》

- 前期・後期全教員の協働による学習指導（TT・少人数授業）の充実
- 年間指導計画作成会議によるカリキュラム・マネジメントを意識した学習指導計画の工夫・改善
- 発達段階に応じた指導、小・中の良さを生かした指導法の工夫

○確かな学力の定着【学習指導】

教員は日々授業改善に努め授業力を向上させる。児童・生徒の実態を踏まえ、主体的に学ぶ力を養うため適切かつ効果的な授業及び学習補充活動の実践に取り組む。

《具体的方策》

- 学力調査や児童・生徒による授業評価の結果に基づく授業改善と工夫
- 公開授業における教員相互の学び合いの充実
- 日常的な学習支援活動（補充教室、能動的に学ぶ学習部の活動等）、及び長期休業中の学習教室の実施
- 基礎学力定着を図る副教材の活用
- 日常の家庭連絡や面談を通じた家庭との連携による学習習慣の定着

○人権教育と心の教育の充実【生活指導・特別活動】

あらゆる偏見や差別をなくし、児童・生徒一人一人が尊重される望ましい人間関係の確立と自己実現の達成を図る。人と人との関わりや社会の一員として生きていくための豊かな心（思いやりの心、素直な心、認め合う心）を育成する。教育活動全般において児童・生徒一人一人の自己肯定感や自尊感情を高め、豊かな人間性や社会性を育成する。

《具体的方策》

- いじめ・差別の防止に関する授業や取組（人権月間活動等）での指導の実施
- 教育相談活動におけるSC・特別支援コーディネーター等との連携による充実
- 道徳科における質の高い多様な指導法の実践

- 児童・生徒会活動および学級活動の活性化

○たくましい心身の育成【学習指導・特別活動】

児童・生徒の成長と発達を支える基本となる体力の向上の重要性を踏まえ、その土台となる強い心を育て、「運動をするための基礎となる身体的能力」と、「体の健康を維持し病気に罹らないようにする力」である2つの体力を育成する。

《具体的方策》

- 児童・生徒自らが自己の体力を把握し、体力向上への意欲を高めるための運動能力（走力・投てき力・持久力）向上にむけた取組の実施
- くじけない心・あきらめない心を育む指導の充実に向けた取組の実施
- 自分の体を大切にし、健康で丈夫な体をつくることを目指した学習活動や取組の実施

○国際理解教育の充実【学校運営】

国際社会の一員として、国を越えた相互理解の必要性を踏まえ、国際人としての自己の確立を図るとともに、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力を育成する。

《具体的方策》

- 学年・教科等での国際理解学習の実施
- 英語教育・外国語(英語)活動の充実に向けた取組の実施
(グローバル教育推進のためのALTの活用)
- 学校2020レガシーとして豊かな国際感覚を醸成する

○ふるさと教育の充実【学習指導】

学校を取り巻く環境の実態・特性を生かし、地域と連携して利島の素晴らしさや良さを実感できる学習活動に取り組む。

《具体的方策》

- 利島の歴史や文化、自然、環境に関する学習活動の実施
(「いま」を軸として隔年で利島の「むかし」「みらい」について学ぶ 令和6年度は「むかしといま」)
- 地域人材を活用した授業や故郷体験学習等の実施

○生き方教育の充実【生活指導・進路指導】

社会の中で生きるために必要な社会的資質や社会的能力を育成し伸長を図るため、教育活動全体を通じて計画的・意図的かつ確実な指導に取り組む。

《具体的方策》

- 基本的な生活規律（挨拶・礼節・言葉遣い）を徹底する取組の実施
- 人間関係形成・社会形成能力育成のための体験的な学習活動の実施
- キャリアプランニング能力育成のための学習活動の実施